

## 感謝の言葉について

東栄小学校 6年  
加藤 れあ

「ありがとう」これは、誰が言っても言われても嬉しく、そして心が温まる言葉だと、私は思います。たった五文字で人とのきよりがぐっと近くなる言葉は、これ以上ないと思います。感謝の気持ちは、生きていくうえで忘れてはいけない、大切な気持ちだと思います。そう改めて考えるようになった理由は二つあります。

私は保育園から水泳を習っています。いつも泳ぎ終えた後は、「先生、ありがとうございます。」と言っておじぎをします。ある時私より三学年上の先輩が先生と話しているのを見て、私もあんな風に話してみたいなと思うようになりました。考えてみれば、泳ぎ終えた後などにアドバイスをくれたりして、感謝をしなければいけないのに気づきました。そう感じた日から感謝の気持ちを出すようにしてみたら、先生もいままで以上に話しかけてくれるようになりました。

二つ目の理由は、「ありがとう」の反対の意味の言葉は「当たり前」だそうです。それを知った時は、なるほどなと思いました。人に何かをしてもらう事が当たり前ではない事です。地球には恵まれない子供達がいる事を知りました。その子供達は、お腹いっぱいにご飯を食べれないと聞きます。なのに、私達は、食べ物を廃棄するほど贅沢な生活を送っています。自分達の目の前に料理が出来るまで何人もの人が頑張ってくれたかを考えると、「いただきます。」「ごちそうさまでした。」ともっと言うべきだと思います。私自身も、今まで以上に食材や料理に感謝したいです。自分だけではなく、家族や友達にも感謝の気持ちを持ってもらえたら嬉しいです。そのためにも、ご飯を残さない、募金やボランティアをするなどの一つ一つ自分に出来る事を実行し、みんなに呼び掛ける事も努めていきたいと思っています。

私はこれまでの人生の中で何百、何千もの人に、お世話になってきたと思います。そしてこれからも、たくさんの方々に支えられて生きていきます。自分に何かしてくれた時、自分を支えてくれた時は、心の底から感謝の言葉「ありがとう」を言おうと思います。なので、この気持ちを常に忘れず、これからも「ありがとう」を大切にしていきたいです。